



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 加藤祐蔵
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6418-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	805	29.9	△377	—	△414	—	△413	—
27年3月期第3四半期	620	△5.8	0	△94.6	8	—	50	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △413百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	△4.85	—
27年3月期第3四半期	0.61	0.61

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
28年3月期第3四半期	5,912	—	3,406	—	57.6	39.88
27年3月期	6,142	—	4,011	—	62.2	44.72

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,406百万円 27年3月期 3,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,100	33.9	△440	—	△480	—	△480	—	△5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) ー 、 除外 1社 (社名) 伊豆スカイラインカントリー株式会社
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	85,457,466 株	27年3月期	85,457,466 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	32,772 株	27年3月期	32,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	85,424,964 株	27年3月期3Q	83,244,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国や新興国等の経済減速など先行き不透明な状況が続いているものの、政府・日銀による経済・金融政策等を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、東京都港区西麻布のテナントビル及び住居の安定した賃料収入を得ることができ、売上高は前年同四半期に比べ8.9%増加し1億4千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ28.1%増加し1億1千1百万円となりました。

繊維事業では、第1四半期は夏物・盛夏物の別注や現物セール用受注を多く受けることができ、第2四半期はアパレル大手の別注を中心とした秋物の受注を多く獲得しました。また、第3四半期もほぼ想定通りに推移しました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ24.5%増加し6千2百万円、営業利益は前年同四半期に比べ81.8%増加し5百万円となりました。

化粧品事業では、オールインワン美容液やホテル向けアメニティ商品の受注が前年に引き続き好調であり、犬用のシャンプー・歯磨きの受注も伸ばすことができました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ7.7%増加し2億1百万円、営業利益は前年同四半期に比べ89.7%増加し2千万円となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー(株)にてゴルフ場運営を行っていましたが、平成27年8月1日付で当社が保有する同社の株式をすべて譲渡し、売上高は9千8百万円、営業利益は4百万円となりました。

平成27年8月より開始した温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町の温浴施設『テルマー湯』のオープンが予定より約1ヶ月遅れたこと、来館者数が想定を大幅に下回ったことなどの影響により、売上高は2億9千8百万円、営業損失4億円となりました。なお、平成27年12月31日時点で『テルマー湯』の会員数は3万3千名を突破しました。また、1日平均の来館者数は、8月から9月は約400名に留まったものの、10月から12月の3ヶ月間では約610名となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は8億5百万円（前年同四半期比29.9%増）、営業損失3億7千7百万円（前年同四半期は営業利益0.4百万円）、経常損失4億1千4百万円（前年同四半期は経常利益8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失4億1千3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益5千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比較して2億3千万円減少し、59億1千2百万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより前連結会計年度末と比較して3億7千5百万円増加し、25億6百万円となりました。純資産は、四半期純損失を計上したことにより前連結会計年度末と比較して6億5百万円減少し、34億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期連結業績予想につきましては、様々な要因を考慮し、平成27年11月13日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において伊豆スカイラインカンントリー株式会社の全保有株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,848	128,973
受取手形及び売掛金	128,925	99,788
商品及び製品	13,107	15,642
仕掛品	5,144	4,484
原材料及び貯蔵品	35,866	36,994
販売用不動産	310,634	311,344
短期貸付金	30,218	—
その他	10,976	158,930
貸倒引当金	△4,152	△690
流動資産合計	1,098,570	755,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	454,858	2,850,744
機械装置及び運搬具（純額）	38,230	10,593
工具、器具及び備品（純額）	15,454	100,218
土地	2,192,617	1,940,115
コース勘定	362,224	—
建設仮勘定	1,727,312	—
有形固定資産合計	4,790,699	4,901,672
無形固定資産		
のれん	2,340	—
借地権	83,445	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	656	2,469
ソフトウェア仮勘定	—	3,240
無形固定資産合計	88,529	91,241
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	176,862	163,835
貸倒引当金	△12,282	—
投資その他の資産合計	165,180	164,435
固定資産合計	5,044,409	5,157,349
資産合計	6,142,979	5,912,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,270	47,583
短期借入金	400,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	483,568	171,924
未払法人税等	7,013	4,175
賞与引当金	—	910
未払金	35,845	63,042
その他	75,933	36,798
流動負債合計	1,036,631	424,433
固定負債		
長期借入金	494,846	1,758,837
資産除去債務	147,546	151,473
再評価に係る繰延税金負債	41,601	41,601
繰延税金負債	47,484	47,375
長期預り金	325,301	82,625
その他	37,718	—
固定負債合計	1,094,499	2,081,912
負債合計	2,131,130	2,506,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,527,811	3,527,811
資本剰余金	244,825	202,102
利益剰余金	△37,123	△408,301
自己株式	△2,078	△2,181
株主資本合計	3,733,434	3,319,431
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	87,037	87,037
その他の包括利益累計額合計	87,037	87,037
非支配株主持分	191,376	—
純資産合計	4,011,848	3,406,469
負債純資産合計	6,142,979	5,912,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	620,441	805,948
売上原価	397,012	944,466
売上総利益又は売上総損失(△)	223,429	△138,517
販売費及び一般管理費	222,946	239,344
営業利益又は営業損失(△)	482	△377,861
営業外収益		
受取利息	3,633	2,254
受取配当金	9	9
受取保険金	20,000	—
貸倒引当金戻入額	455	2,732
その他	6,419	3,141
営業外収益合計	30,518	8,139
営業外費用		
支払利息	18,749	30,374
減価償却費	956	883
支払手数料	—	12,962
その他	2,409	652
営業外費用合計	22,114	44,873
経常利益又は経常損失(△)	8,886	△414,595
特別利益		
子会社株式売却益	—	3,087
負ののれん発生益	19,894	—
預託金償還益	45,382	—
特別利益合計	65,276	3,087
特別損失		
固定資産除却損	192	39
特別損失合計	192	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	73,970	△411,548
法人税、住民税及び事業税	1,924	2,358
法人税等調整額	△17	△109
法人税等合計	1,906	2,249
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,064	△413,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,275	103
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	50,788	△413,900

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,064	△413,797
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	72,064	△413,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,788	△413,900
非支配株主に係る四半期包括利益	21,275	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社が平成25年3月18日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成26年6月24日の権利行使をもって当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が1億5千3百万円、資本準備金が1億5千3百万円それぞれ増加しております。また、平成26年6月27日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金5千8百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、第1四半期連結会計期間において資本金が1億5千3百万円、資本準備金が9千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が35億2千7百万円、資本準備金が2億4千4百万円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

平成27年6月26日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金4千2百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本準備金が4千2百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	133,891	49,960	186,957	249,632	620,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	133,891	49,960	186,957	249,632	620,441
セグメント利益	86,863	3,285	10,874	18,109	119,133

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で1,173,007千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	119,133
のれんの償却額	△3,510
全社費用(注)	△115,140
四半期連結損益計算書の営業利益	482

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	温浴	合計
売上高						
外部顧客への売上高	145,804	62,199	201,390	98,316	298,237	805,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	475	—	36	—	—	511
計	146,279	62,199	201,426	98,316	298,237	806,459
セグメント利益又は損失(△)	111,235	5,972	20,632	4,023	△400,921	△259,057

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

- (1) 当第3四半期連結会計期間末において、前連結会計年度の末日に比べ、「不動産」セグメントの資産の金額は2,405,537千円減少しております。これは主に、東京都新宿区に建設した温浴施設の建設費用を「温浴」に振り替えたことによるものであります。
- (2) 当第3四半期連結会計期間末において、「温浴」セグメントの資産の金額は3,335,215千円となりました。
- (3) 第2四半期連結会計期間において、伊豆スカイラインリゾート株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことから、前連結会計年度の末日に比べ、「ゴルフ場」セグメントの資産の金額は872,727千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは新たに温浴事業を開始したことに伴い、第2四半期連結会計期間から「温浴」を報告セグメントに追加しております。

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△259,057
のれんの償却額	△1,560
全社費用(注)	△117,244
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△377,861

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。